

平成29年度 第1回八幡浜市総合教育会議議事録

1 日時

平成29年10月11日(水) 15:00～15:50

2 場所

八幡浜市役所八幡浜庁舎3階庁議室

3 出席者

(1) 構成員

大城一郎市長、井上靖教育長、菊池誠教育委員、小野巖教育委員、
上田純子教育委員、泉俊也教育委員

(2) 構成員以外の出席者

副市長、総務部長、総務課長、人権啓発課長、総務課長補佐、
教育指導主幹、学校教育課長、生涯学習課長、学校教育課長補佐

4 議事

(1) 市長あいさつ

- 昨日閉幕した国体では、市職員と中学生を中心とした応援団が観客と一体となって会場を盛り上げ、開催意義があった。
- 学校再編については、現在、学校再編整備第二次実施計画(案)のパブリックコメントを募集中で、12月に実施計画を策定する。実施に向けて、市全体で取り組んでいくことになるので、よろしくお願ひしたい。
- 本日は、八幡浜市いじめ防止基本方針(案)について意見交換したい。

(2) 八幡浜市いじめ防止基本方針(案)について

【事務局】

- 策定の目的
対外的に「いじめ問題」に真摯に取り組んでいることのアピールと「いじめの根絶」を図ることを説明。
- スケジュール
総合教育会議で協議後、11月開催の八幡浜市いじめ対策委員会に報告し、パブリックコメント募集後、3月議会で「八幡浜市いじめ問題再調査委員会条例」を上程・議決後、「八幡浜市いじめ防止基本方針」を最終決定することを説明。
- 八幡浜市いじめ防止基本方針の概要
次の3章から構成されることを説明。
 - ① 「いじめ防止対策の基本的な方向性」として、いじめの定義やいじめ防止のための基本的な考え方や対応を記載
 - ② 「いじめ防止対策の具体的な内容」として、行政と学校が取り組むべきこと、重大事態の捉え方や対応について記載

- ③ 重要事項として、いじめ問題の現実や法律の施行状況等に柔軟に対応するため、3年を目安として見直しと検討すべきことを記載
- 八幡浜市いじめ防止基本方針の内容
資料「八幡浜市いじめ防止基本方針」（案）により説明。
- 八幡浜市いじめ問題再調査委員会条例
いじめ問題再調査委員会の概要について説明。

【菊池委員】

- いじめの「解消している」状態について記載されているところが良い。
- 道徳教育の取組における「畏敬の念」という表現が良い。
- SNS等を使いたいじめにも対応している内容で、まとまりは良い。

【教育長】

- 八幡浜市の場合、中学校ごとのいじめ対策委員会、市全体のいじめ対策委員会等の組織を作っているの、他の自治体に比べると動きやすいのかなと思っているが、重大事態が発生した時にどう動くのかということについては、今まで経験がないので、基本方針の策定により、より具体的になっていくと考えている。

【小野委員】

- 祭行事や社会体育行事に参加している生徒や先生が、汗水を流し、笑顔で、楽しく活動している姿を見ていると、成長過程において、八幡浜市を愛する心、人に喜んでもらう優しい心も育つと思う。

【上田委員】

- 朝、ウォーキングをしているとき、通学路で学校区の方が、見守り活動を実施しており、子どもたちが安心して集団登校をする光景は、大変ほほえましい。都会では、見守り活動に関して問題も起こっているようだが、八幡浜市では、地域の方と学校と双方向の活動ができていると思う。その積み重ねが、いじめの未然防止につながると思うので、みんなで子どもを育てるという意識を継続していただきたい。

【泉委員】

- いじめにつながる隠れた問題を察知するには、一番大事なのは、家庭内でよく話を聞き、観察することだと思う。そして、二番目は、学校だと思う。先生方が、いじめにつながるようなことがあったら両方の意見をしっかり聴くことがスタートだと思う。しかし、今の先生は、色々忙しくて、ゆっくり子どもと接する時間がないような気がする。先生方も忙しいとは思いますが、子どもと接する時間を多くすれば、いじめにつながる問題をキャッチできるようになると考える。

【教育長】

- 教育現場では、授業とか生徒指導以外の教員の負担はなくすように努めていかなければならないと考えている。八幡浜市としては、教員の負担が減って達成感が味わえるような形での業務改善事業に取り組みたい。

【市長】

- 修正等の意見もないので、いじめ防止基本方針（案）については、この内容で八幡浜市いじめ対策委員会に諮ってもらい、パブリックコメントをへて、3月に策定する予定なので、よろしくお願ひしたい。

(3) その他

【市長】

- 学校再編整備検討委員会の答申を受け、これから第2次計画に沿って再編をやっていかなければならない中で、今年度統合された、八代と双岩中学校、そして、保内と青石中学校で、1学期の中頃にアンケート調査を実施した。その調査結果では、不安よりも統合して良かったという意見が多かったが、教育委員さんの学校訪問等を通じて感じた意見・感想をお聞きしたい。

【小野委員】

- 保内中学校の運動会では、青石中学校の子どもたちがものすごく溶け込んでいる印象を受けた。色々と配慮された運動会で、良かったと思う。

【上田委員】

- 保内中学校については、4月の入学式の時には、青石と保内とは、色合いが違っていたが、学校訪問で授業を見たところ、両校が同化し、一緒になって活動していた。問題は、2年目3年目がどうなっているかだと思う。

【菊池委員】

- 八代中学校の運動会は、パワーと一体感があって良かったと思う。保内中学校の学校訪問では、青石と保内の中学生が溶け込んでいたことと先生方が一生懸命取り組まれている印象を受けた。
- アンケート結果では、統合した側の不満もあるようなので、そのケアも必要である。
- 統合で生徒数が増えたため、今まで以上に仲の良い友達ができ、生き生きと学校生活を送っているという話も聞いた。

【市長】

- 統合した側の不満として、部活動での朝練習の時間が削減された話を聞いたことがある。

【教育長】

- バス通学等の関係もあり保護者の意見等を聞いたうえで、練習時間を調整していると思う。練習希望者に制限を加える必要はないと思うが、統合したばかりなので、もう少し時間をかけて良い方向に調整したい。

【泉委員】

- 統合で通学距離が長くなる子どもに対して、部活動への対応を含めた交通手段等の支援が必要だと思う。

【市長】

- スクールバスについては、利用方法の緩和等子どもの安全に配慮した運営の仕方もあると考えていかなければならない。

【教育長】

- 通学支援については、状況に応じて配慮したい。

閉会